

平成 24 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	マクロ経済学

以下の問 1, 2 の両方に答えよ。問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答すること。

問 1 ある国の経済が以下のように表されるとする。

$$\text{財市場の均衡式 } Y = C + I + G$$

$$\text{消費関数 } C = 40 + 0.6Y$$

$$\text{投資関数 } I = 14 - 8r$$

$$\text{政府支出 } G = 50$$

$$\text{貨幣市場の均衡式 } \frac{M}{P} = L$$

$$\text{貨幣需要関数 } L = 0.2Y - 10r$$

$$\text{貨幣供給量 } M = 90$$

ここで、 $Y$  は国民所得、 $r$  は利子率、 $P$  は物価水準を表す。以下のすべての設問に答えなさい。

- (1) IS 曲線を求めなさい。
- (2) LM 曲線を求めなさい。
- (3) 総需要曲線 (AD 曲線) を求めなさい。
- (4) 総供給曲線 (AS 曲線) が  $Y = 100P + 50$  で表されるとする。このときの均衡国民所得と均衡物価水準を求めなさい。
- (5) 本設定の下で、スタグフレーションが生じるメカニズムを説明しなさい。

問 2 以下の3つの選択問題から2つを選び答えなさい。どの問題を選択したかわかるように選択した問題番号を解答に書くこと。

(選択問題1)

(この問題文は吉川洋(2009)『マクロ経済学第3版』岩波書店の記述にもとづく。)

(選択問題2) 現金通貨を  $C$ , 準備預金を  $R$ , 市中銀行の預金を  $D$ , ハイパワード・マネーを  $H$ , マネーサプライを  $M$  とする。準備率  $r$  と現金・預金比率  $d$  を定義し,  $r$  と  $d$  を用いて貨幣乗数を表しなさい。さらに, 流動性のわなのもとで貨幣乗数がなぜ小さくなるのかを現在のいずれかの国の経済状況を踏まえて説明しなさい。

(選択問題3)  $t$  期の消費を  $C_t$ , 労働供給量を  $L_t$ , 資本ストックを  $K_t$ , 国民所得を  $Y_t$  とする。貯蓄率は  $s$  で一定とし, このときの貯蓄は  $sY_t$  である。また, マクロ経済は以下のように記述される。

$$\text{生産関数: } \ln Y_t = \frac{2}{3}(\ln A_t + \ln L_t) + \frac{1}{3} \ln K_t$$

$$\text{資本蓄積: } K_{t+1} = I_t$$

$$\text{財・サービス市場均衡: } Y_t = C_t + I_t$$

$$\text{労働市場均衡: } L_t = \bar{L} \text{ (一定)}$$

$$\text{資本市場均衡: 投資} = \text{貯蓄}$$

ここで  $I_t$  は  $t$  期の投資であり, 資本ストック  $K_t$  の減耗率は 100% である。この時, 技術水準 ( $A_t$ ) の変化が

$$\ln A_t = \alpha + u_t$$

で表されるものとする。ただし,  $\alpha$  は定数で,  $u_t$  はホワイト・ノイズの生産性ショックである。 $u_t = 0$  が常に成り立つときの経済変動を示し, さらに, リアル・ビジネス・サイクル理論を説明しなさい。

以上